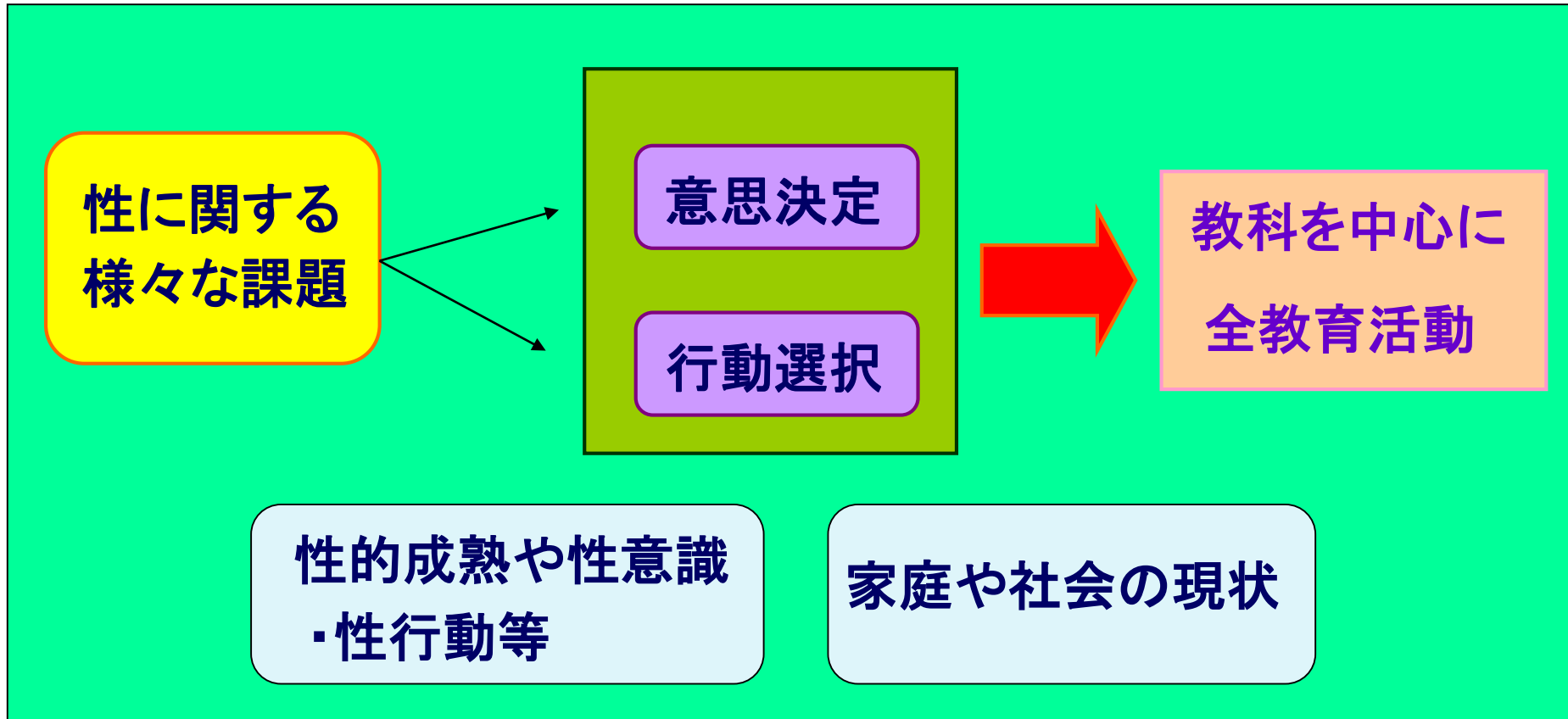


学校における 性に関する指導について

千葉県教育庁教育振興部
学校安全保健課

学校における性教育は・・・



様々な学問分野を基盤として、幅広い観点から

学校における性教育の基本的な目標

学校における性教育は、児童生徒の人格の完成豊かな人間形成を究極の目的とし、人間の性を人格の基本的な部分として総合的にとらえ、科学的知識を理解させ、児童生徒が生命尊重、人格尊重、男女平等の精神に基づいた異性観をもつことによって、自ら考え、判断し、意思決定をする能力を身につけ、望ましい行動を取れるようにすることである。

学校における性教育の具体的な目標

- ①男性または女性としての自己の認識を確か
にさせる。
- ②人間尊重，男女平等の精神に基づく豊かな
男女の人間関係を築くことができるように
する。
- ③家庭や様々な社会集団の一員として直面す
る性の諸問題を適切に判断し，対処する能
力や資質を育てる。

学校における性教育の考え方

- ①学習指導要領に則り，児童生徒の発達段階に沿った時期と内容で実施する。
- ②保護者や地域の理解を得ながら行う。
- ③個々の職員がそれぞれの判断で進めるのではなく，学校全体で共通理解を図って実施する。
- ④集団指導と個別指導によって，相互に補完する。

学校における性教育の進め方

- ①学校全体で取り組む。
- ②保護者や地域の理解を得る。
- ③授業を適切に評価し，次年度に反映させる。

学習指導要領における主な記述《小学校》

〔第3学年・第4学年〕

2 内容

G 保健

(2) 体の発育・発達について理解できるようにする。

ア 体は、年齢に伴って変化すること。また、体の発育・発達には、個人差があること。

イ 体は、思春期になると次第に大人の体に近づき、体つきが変わったり、初経、精通などが起こったりすること。また、異性への関心が芽生えること。

学習指導要領における主な記述 <<中学校>>

第2 各分野の目標及び内容

〔保健分野〕

2 内容

- (1) 心身の機能の発達と心の健康について理解できるようにする。
- (4) 健康な生活と疾病の予防について理解を深めることができるようにする。

エ 感染症は、病原体が主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できること。

学習指導要領における主な記述<<高等学校>>

第2 保健

3 内容

(1) 現代社会と健康

イ 健康の保持増進と疾病の予防

感染症の発生や流行には時代や地域によって違いがみられること。その予防には、個人的及び社会的な対策を行う必要があること。

(2) 生涯を通じる健康

ア 生涯の各段階における健康

生涯にわたって健康を保持増進するには、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりがかかわっていること。

エイズ教育の目標

エイズの疾病概念、感染経路及び予防方法を正しく理解させ、エイズを予防する資質や能力を育てるとともに、人間尊重の精神に基づきエイズに対するいたずらな不安や偏見・差別を払拭する。



発達段階に応じたエイズに関する指導